

もがみまち 議会だより

6月
定期議会

No.161
2018年 7月12日



- 進まない移住定住対策…2～3
- 議案審議…5
- 町政を問う 4議員が一般質問…7～10
- 産業厚生常任委員会報告…11
- おらだの声…12

「6年生、すいぶん大きくなったね！」
5月27日 大堀小学校運動会

進まない！移

6月補正予算可決

追加 5650万円

総額 58億9190万円

主な事業

- ・UJIターン促進費 476万円
- ・若者世帯空き家改修費 390万円
- ・関係人口創出事業（ふるさと納税） 510万円
- ・公共道路改良工事請負費 900万円
- ・スクールバス購入費 417万円



住宅住対策

6月定例議会は、6月5日から6日までの2日間の日程で行われました。

付託された議案は、平成30年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算6件、報告2件、人事案件1件、条例の制定4件、工事請負契約の締結1件、ポンプ車の取得1件、全15件を慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。一般質問には4名が登壇し、町の政策を問いました。

移住定住対策の実態

問 UJIターン促進の今までの成果は？

答 昨年度は、新農業人フェアやふるさと回帰支援センターなどで移住定住に向けた取り組みを行いましたが、実績として町への移住はありませんでした。

今年度は、基幹産業である農業を切り口に東京圏の新農業人フェア等に力を入れ実績を作っています。



西側教室棟などの外壁を改修します（最上中）

- ・最上中学校大規模改修第2期 工事始まる 1億8500万円
- ・東法田・前森にポンプ付積載 車2台を更新 1500万円

Q&A 議案審議

地域振興公社経営状況

前年比	純利益
158万3000円 増	4万8000円



問 西公園施設の利用状況は？

答 グランドゴルフ、ラオケプランが人気です。体育施設の利用者が増え、職員が資格を取りスポーツ行事を運営し「もがみ西公園スポーツクラブ」を立ち上げました。今後も子ども達の健康増進と体力づくりを目的に進めていきます。

問 温水プールヒートポンプの更新は？

答 更新にあたっては補助金を使いながら進められないか危機感を持ちながら対応していきます。

前森高原に遊具を設置 1420万円

問 共生の地域づくり助成前森高原遊具設置工事1420万円の請負費が計上されていますが、どのようなものを設置するのか？



ヤーに訪れる前森高原に車イスでも登れるスロープ状で、障がいを持つ方にも楽しめる遊具群を設置するものであり、遊具の設置場所は、前に木製の遊具があつた所に設置する計画であります。

答 宝くじ事業についてはこれまででも各集落等の地域づくりに大きく貢献しております。次回の採択に向けて改めて取り組みを進めて参ります。減額となつた理由は、選考段階において採択に至らなかつたためである。

問 県との連携で行う移住体験事業について、具体的な内容は？

答 東法田集落と前森集落になります。

ポンプ付積載車

2台で1500万円

問 コミュニティ助成事業補助金は、各地区にとって大事な事業の一つであるが、なぜ減額されたのか？

答 宝くじ事業についてはこれまででも各集落等の地域づくりに大きく貢献しております。次回の採択に向けて改めて取り組みを進めて参ります。減額となつた理由は、選考段階において採択に至らなかつたためである。

問 ストレスチェックをした結果はどうだったのか？

問 団員数が減少しているなか、行政改革の面からも、20年経過したから更新するという考え方を今後改めていくべきでないか？

答 消防委員会等で議論してもらながら改善していくきます。

問 この制度の上限は？

答 一般型は1000万円、小規模型は500万円までの補助になります。

問 支援金の支援に対しての報告義務は？

答 補助金報告として5年間の義務があります。

問 放課後児童支援員の資格に予算化

問 支援員は何人いるのか。研修費の負担はあるのか？

答 4つの児童クラブで9名です。1施設に1人の資格者が必要です。

町では研修費を予算化しております。

問 コミュニティ助成事業減額

答 県では3本立てで支援やサポートを考えています。

二つ目の「食」では山形の食をアピールし移住した人に対して1年間、米や味噌などの支援を行います。

医療福祉の分野に関する体験事業を行っていきたいと考えています。

教職員の心の健康は大丈夫か

問 地域コーディネーターの賃金とは？

答 これから小学校が統合する事になりますが、学校統合がスムーズに進むよう、また、統合後もスムーズに地域活動等ができるようコーディネーターしていただく方の賃金です。

問 人事院勧告という事着実に実現していくために、人事院勧告を反映させて条例改正を提案させていただきますが、今後は看護師等の確保対策として、待遇全般にわたる改善にスピード感をもって進め参ります。

問 人事院勧告という事だけでなく、町独自の政策として実施すべきではないか？

む生活面の支援について取り組む必要があると考えております。

問 病院の危機感の観点から、過疎ソフト債を医師だけでなく、看護師にも使えないのか？

答 看護師等の確保対策に向けて、今後、過疎ソフト債の活用を検討して参ります。

問 病院の危機感の観点に向けて、今後、過疎ソ

フト債の活用を検討して参ります。

人事案件

◇教育委員会委員（再任）

大澤ひとみ氏（赤倉）

任期：平成30年7月1日
～平成34年6月30日まで



限界集落を見据えた移住定住策を



町長答弁 官民・集落間連携を推進していく

宮本 浩議員

質問 65歳以上の高齢者が集落に占める割合が50%を超える限界集落と言われる集落も出てきている中で、将来の集落形成をどう見据えて行動されていりますか？

答弁

集落内では人口が減り、若い人が減る状況が続いています。町としては各集落が置かれている現状を的確に把握しながら、総合戦略に沿って集落自治の確立と担い手不足の課題等については、集落間連携の一層の支援を行ってまいります。

質問 65歳以上の高齢者が集落に占める割合が50%を超える限界集落と言われる集落等全体で行われております。国ではがん検診の受診率90%以上を目標にしています。

「がん」検診の強化を

町長答弁 受診率90%以上を目指に進めたい



二戸 守議員

質問 年間30万人が死亡する「がん」になる確率は男性62%、女性46%で、平均寿命は男性89歳、女性は87.14歳で県内では、女性が86.6歳、男性79.2歳で下から2番目の32位です。特にがん検診は若い人が少なく、現在の4歳を30歳で受けられる検診の強化が必要では？

答弁

がん検診は県や検診機関、医療機関等全体で行われております。国ではがん検診の受診率90%以上を目標にしています。

質問 これから限界集落対策を考える上で、「最上町に住みませんか？」だけでなく、「最上町の○○集落に住みませんか？」という施策が必要では？

答弁

町の歴史や文化、人物の魅力を含めて動画等で情報発信し、各集落の空き家も活用しながら移住定住につなげて行きたいと考えます。そのためにも、今の若い人達がこの町に住んで良かったと思える環境の創出が重要であると捉えるところです。

質問 これから限界集落対策を考える上で、「最上町に住みませんか？」だけでなく、「最上町の○○集落に住みませんか？」という施策が必要では？

質問 これまでの町政の実績として、最上小国川流水型ダムが来年には完成し、保育所の無償化をはじめ、子育て支援の充実や中学校の大規模改修工事、教育環境の整備とともに、大きな事業として「木質バイオマス」と「若者定住」を組み合わせ、約10億円を投入した「若者定住環境モデルタウン」があります。分譲地は現在も問い合わせがあり、「移住定住」の受け入れ態勢も大きな課題ではないか？

答弁

私のこれまでの実績等については、「集落自治活性化交付金事業」や「地域間連携推進交付金事業」等に力を入れ、「す」や「かプラザ」の整備、保育料中学生までの医療費の無償化に取り組むことによっては若者を支援し、そのことが移住定住の強みになっています。耕畜連携においての「産業振興の充実」「最上小国川流水型ダム」の進捗等も挙げられます。

手軽にできる腫瘍マーク検査では、がんと正確に判断することができるものでなく、死亡率減少に期待できません。町として自治体の検診に組み込んでいくと考

み込むか慎重に検討しています。予防研究が進み安価に行える検診項目が開発されていくと考え町民の健康維持増進を進めています。

町長の実績と評価、今後の施策は？

幅広い移住施策を構築し、農業体験や、教育旅行の受け入れを推進しながら、若者が定着しやすい職場環境の創出も重要です。そして今後益々進む高齢化社会にあっては、地域福祉・地域医療の専門の推進が求められると一緒に頑張つてまいりたいと考えます。

質問 各集落の高齢化率なども考えて進めていくべきだと思いますが？

質問 現在、町内には26軒の利活用可能な空き家があります。今年度、新たに県と連携移住定住受入協議会を中心、住居だけでなく「職」の支援等、地域の方が関わる仕組みづくりを図っています。

答弁

また、商工会青年部の方からは「農協青年部や役場の若手職員などで議論する協議会を立ち上げましょう」とも言って頂きました。

これからも若い人達と自治協働のまちづくりを行っていきたいと考えています。



CTスキャンによる検診

一堂に会し、これから町の在り方を議論し提言する形の在り方。

また、これからも若い人達と自治協働のまちづくりを行っていきたいと考えています。

農業体験や、教育旅行の受け入れを推進しながら、若者が定着しやすい職場環境の創出も重要です。そして今後益々進む高齢化社会にあっては、地域福祉・地域医療の専門の推進が求められると一緒に頑張つてまいりたいと考えます。

質問 集落の空き家を利用するという事ですが、ただ空き家を整備するだけではなく、空き家と集落に住んでいる相談役をセットにして取り組んでいき、

質問 「30歳成人式」のように対しても、ターンにつながるような機会を創るべきでは？



「交流人口拡大に向けた公設民営施設の経営」について

産業厚生常任委員長報告 渡邊 英俊



平成29年11月21日～22日の日程で、標記に関して研修してまいりました。

初日は青森県黒石市を訪問いたしました。中心部にある「小さなまちかど博物館」と「中町こみせどおり」の取り組みと、市民や観光客が気がねなく利用できる施設づくりとして「松の湯」の再生に関心が高く、行政が支援し理想の町づくりに取り組んでいる姿は学ぶ点が数多くありました。

2日目は岩手県紫波町の「オガールプラザ」を訪れました。この施設は官と民が連携することにより、町の発展と町民の幸せを目指すものであり、年間90万人の来訪者が訪れておりました。成功には首長のリーダーシップと、

官民の想いと実行があり、民間ならではのスピーデ感と感性を強く感じました。

2日間の研修を通して、行政と民間の距離感を段階的にどう作り上げていくのか。行政の課題として「まちづくり」から「まちそだて」への意識改革をどう図っていくのか？議論を重ねなければならぬと感じた研修がありました。



教えて議会！?

Q1 繰越明許費ってなんですか？

A 歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することが出来る事業費です。

Q3 町では、今年度どんな事業がありますか？

A ①町道薬師原鵜杉線（鵜杉地内）道路改良工事 1534万円
【鵜杉駅から国道までの区間による道路改良工事】
②最上中学校大規模改修工事（第2期工事） 1億8500万円
【西側教室棟などの外壁塗装、屋根の防水処理等の外回り工事】



Q2 もう少し分かりやすく言うと？

A 長期的な事業や年度をまたぐ事業の時に使われます。

「おくのほそ道」を「日本遺産」に

〔町長答弁〕再度、登録申請活動を継続

質問 文化庁は地域の有形無形の文化財をテーマでまとめて魅力を発信する日本遺産として新たに7つの市町村・山形市・寒河江市・天童市・尾花沢市・山辺町・中山町・河北町の構成で県が申請し、文化・観光・産業と横断的な活性化が期待できると評価され認定を受けました。最上町には、国重要指定文化財の「封人のか」歴史の道として芭蕉が命懸けで越えた山刀伐峠を我が町の宝として先人の遺産と

質問 インバウンドで海外の方々も200人以上「おくのほそ道」を表明させていただきました。呼びかけ人である岐阜県大垣市を中心に、「芭蕉が残した自然観、風景観」時代を超えて詠まれた地とのタイトルで地域活性化計画を取りまとめ、日本遺産登録申請を行い認定に向け関係自治体と共に進んでまいります。



答弁 平成29年10月7日に富山県高岡市で開催された「おくのほそ道サミット」総会において、「日本遺産」への登録に向けた申請案が議決され、当町としては参画を表明させていただきました。呼びかけ人である岐阜県大垣市を中心

して「日本遺産」として申請してはいかがでしょうか？

答弁 史跡を巡る旅行者も多く芭蕉が完成させたという「俳句」

質問 そ道」を歩いています。案内看板の損傷も大部見受けられます。案内板には、英語・日本語他、多言語化の表示は必要だと思いますが。

答弁 そういう文学ジャンルは今まで選んでいただけます。毎年修繕費を予算化しておりますので、順次進めています。



封人の家

山刀伐峠



齊藤 和広さん [下白川]
アスパラ農家

「少子化の波」

お
ら
だ
の
声

今現状最上町は人口減少、少子化に突き進んでいることは間違いない、問題は色々な要因が考えられると思う。その問題は最上町に限ったことではなく、どの市町村でも見られる現象なのです。

でも、ただ黙って指をくわえて見ているのではなく、行動に移すことが大事だと思っている。最上町の魅力はどこにあるのだろうと、もう一度見つめなおしてみれば新しい発見が見つかるかもしれない。

それが実は救世主となるアイデアの可能性を秘めているかもしれない。

私が町政に期待することはただ一つ。
10年後、20年後と過ぎたときに、たくさんの町民が笑顔で生活している。そんなまちづくりをお願いしたい。

■編集発行／山形県最上郡最上町議会広報編集委員会

最上町役場／山形県最上郡最上町大字向町644

<http://mogami.ty>

議会の主な動き

扱い手確保に向けて 国へ声を届ける

4月18日～19日 厚生労働省へ

地方病院の大きな問題である医師、看護師不足が喫緊の課題であり国に現状を訴え、お願いして参りました。



6月4日

元国保中央会常務理事 田中一哉氏事務所を訪問し「国際医療大学・大学院特任教授」の渡辺俊介氏を招いて、学生の研修地として最上町との交流を進めていただきたい想いを伝えました。



誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

議会傍聴へのご案内

次の定例会は9月定例会です

お問い合わせは議会事務局まで **043-2362** (直通)



編集後記

委員長	議長	【発行責任者】
副委員長	二戸	【広報編集委員会】
宮本	佐澤	尾形
浩	英一	守
正	勝雄	俊郎

(尾形勝雄)

▽広報研修に参加して、活動などが分かりやすく読んでもらえる広報づくりに努めて参りますので、皆さんのご意見も宜しくお願い致します。

した。

▽広報研修に参加して、活動などが分かりやすく読んでも

らえる広報づくりに努めて参

りますので、皆さんのご意見も宜しくお願い致します。

します。

した。

した。